

おokayama若者グローバルチャレンジ応援事業における グローバルリーダーの育成

岡山県 県民生活部 国際課

総括参事 松下 義之

岡山県政の基本目標



すべての県民が
明るい笑顔で暮らす
「生き活き岡山」の実現

3つの重点戦略

重点戦略Ⅰ

教育県岡山の復活

1 学力向上プログラム

2 徳育推進プログラム

3 グローバル人材育成プログラム

【具体的な施策】

- 中学生英語4技能の育成研究
- 高校生や**大学生等の留学支援**、留学促進フェアの開催
- 教員の海外派遣、英語指導パワーアッププロジェクト
- 海外の学校と姉妹校提携を締結

など

重点戦略Ⅱ

地域を支える産業の振興

重点戦略Ⅲ

安心して豊かさが実感できる地域の創造

おかやま若者グローバルチャレンジ応援事業

概要

県内企業等からの協賛金と国からの助成金により、県内大学生等の海外留学を支援

※トビタテ！留学JAPAN「地域人材コース」として文部科学省から事業採択

事業期間

平成27年度～令和2年度（予定）

派遣人数

24名（平成27年度～令和元年度）

H27：4名、H28：7名、H29：6名

H30：3名、R元：4名



岡山の未来をつくる若者の留学を、オールジャパンで応援しています。

官民協働海外留学支援制度
地域人材コース 文部科学省

もんぱー岡山! おかやま若者グローバルチャレンジ応援事業

授業料＋現地活動費＋渡航費

奨学金であはたの留学をしっかり

サポート

「地域人材コース」は、実践活動を焦点とした海外留学と岡山県内企業でのインターンシップを組み合わせたプログラムです。

世界の人と交流して様々な体験を過ごし、岡山の発展に貢献したい、岡山の良さを世界に発信したい…そんな意欲ある若者を産学官で応援します。

おかやま若者グローバルチャレンジ応援地域協議会

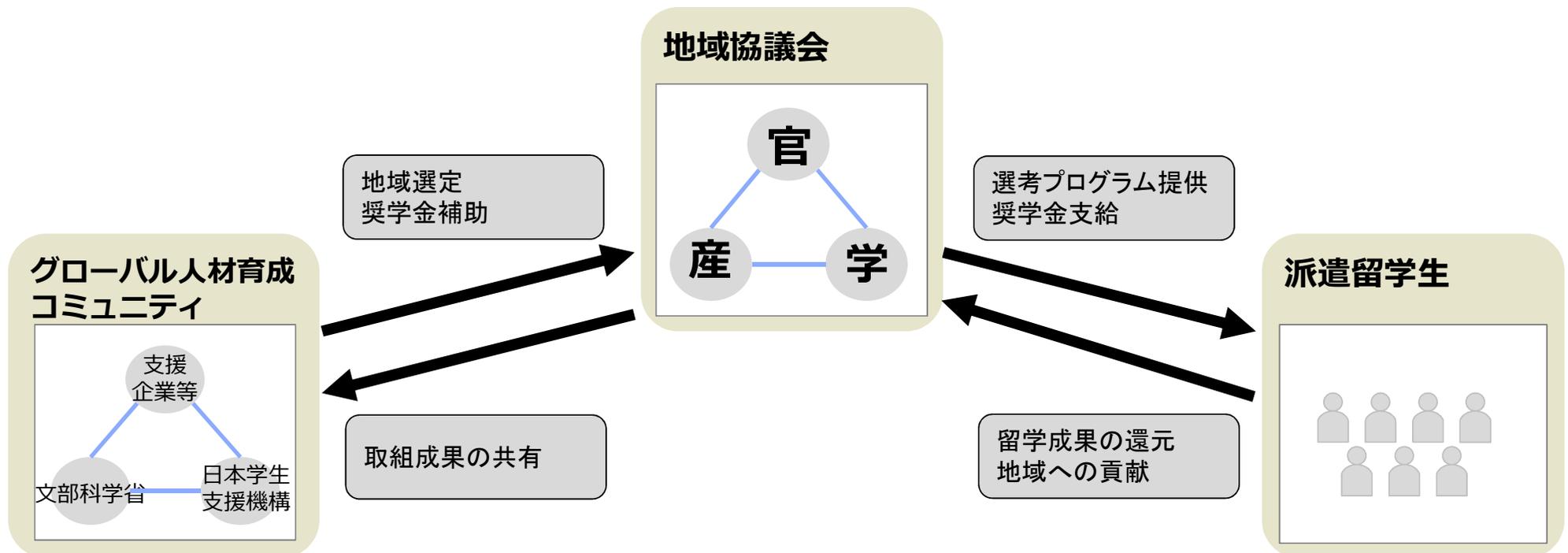
岡山県経済団体連絡協議会、岡山県商工会議所連合会、岡山県経営者協会、(一社)岡山経済同友会、岡山県中小企業団体中央会、岡山県商工会連合会、大学コンソーシアム岡山、(一社)岡山県国際経済交流協会、(一財)岡山県国際交流協会、岡山県、(公財)岡山県産業振興財団

支援企業・団体一覧 R2年1月 現在(予定)



トビタテ！留学JAPAN「地域人材コース」とは

地域の活性化に貢献し、地域に定着するグローバル人材（グローバルリーダー）の育成を目的とし、地域の産学官が主体となって実施する事業



「地域人材コース」の目指す効果

グローバル人材の育成

- 地域の活性化に貢献し、地域に定着するグローバル人材の育成
- 輩出されたリーダーが地域に貢献することで、人材育成と地域貢献の循環が確立

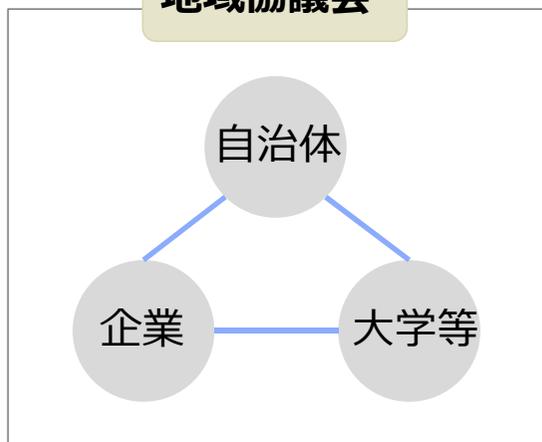
地域における産学官の連携

- グローバル人材育成に向け、地域の産学官が有機的に連携
- 自立的・継続的な仕組みとして連携の構築

実施体制の整備

－ 地域協議会の設置 －

地域協議会



- 地域協議会は、各地域の企業等、地方公共団体、高等教育機関により構成されること
- 奨学金等に充てる資金を拠出できる企業が10社以上参加していること
- 法人格を持つ組織または法人格を持つ団体内に事務局が設置された組織であること

【地域協議会代表者】

(公財)岡山県産業振興財団 理事長 三宅 昇

【地域協議会の構成員】

岡山県経済団体連絡協議会、岡山県商工会議所連合会
岡山県経営者協会、(一社)岡山経済同友会
岡山県中小企業団体中央会、岡山県商工会連合会
大学コンソーシアム岡山、(一社)岡山県国際経済交流協会
(一財)岡山県国際交流協会、岡山県
(公財)岡山県産業振興財団

【産学官の役割】

産
学
官

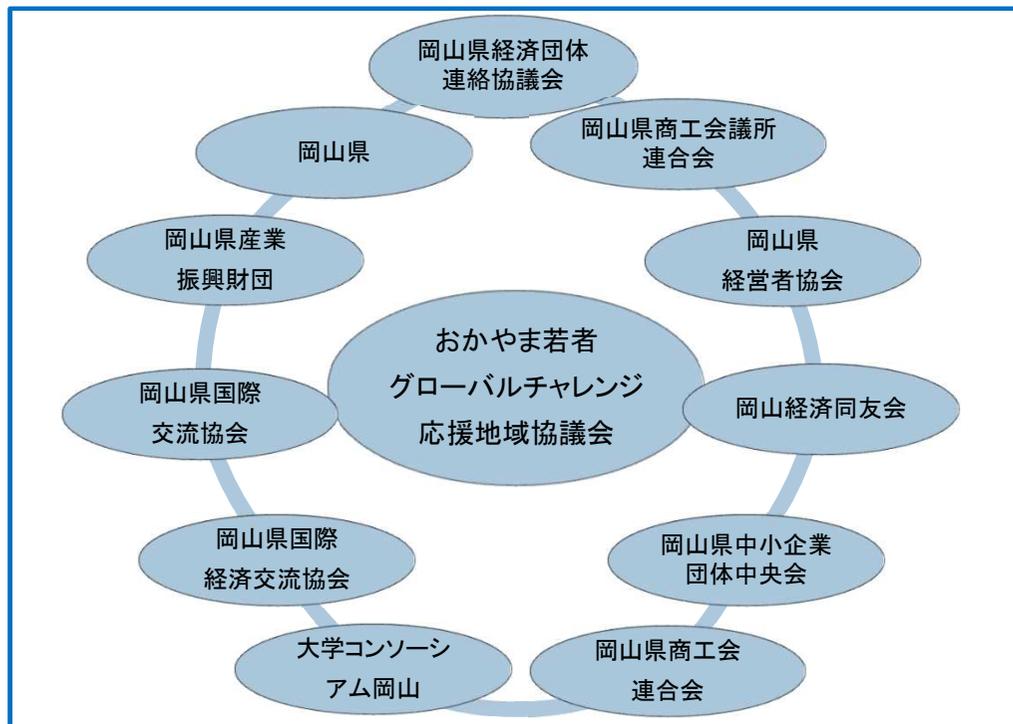
参加企業でのインターンシップ受入の協力、選考会での面接、学生の成長度合いの人物評価、参加企業に対する寄附金の協力依頼、等

学生への制度の周知と応募とりまとめ、留学計画への助言、教員の持つ人脈やネットワークを活用し、海外での実践的活動やインターンシップをサポート、等

プログラムの総括、広報、選考会での面接、運営費負担、等

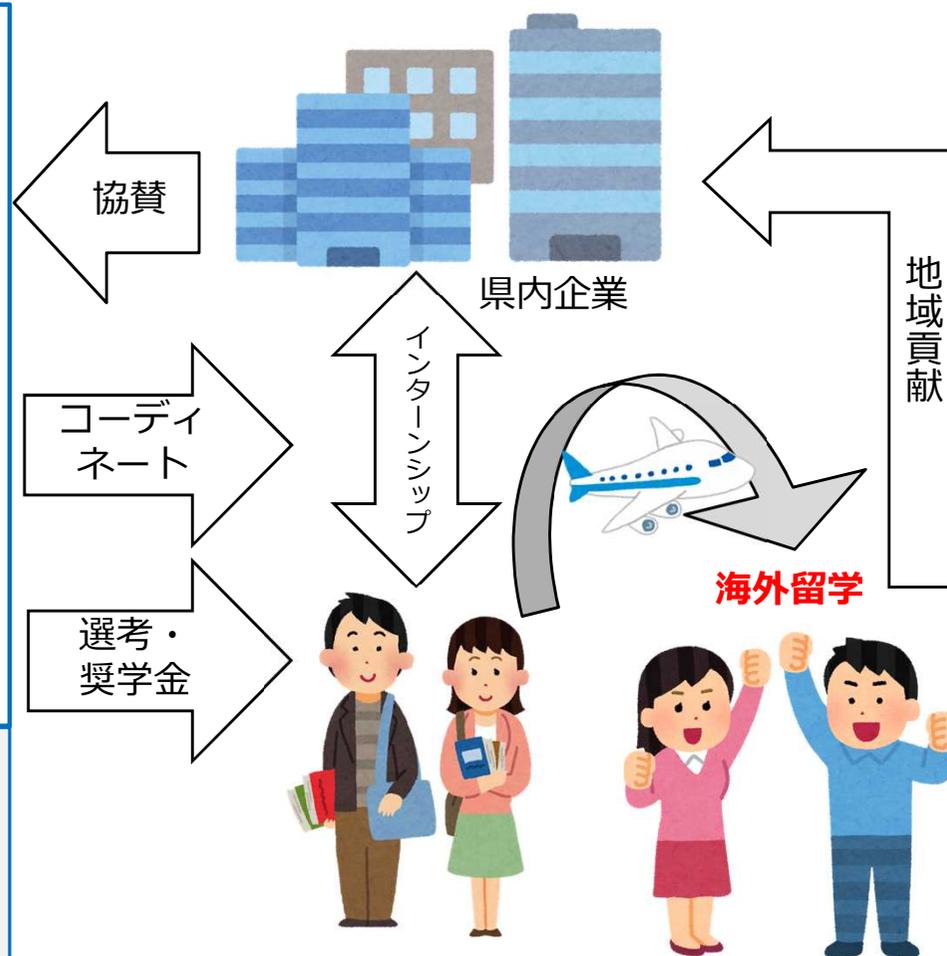
実施体制の整備

－事業イメージ－



地域協議会の役割

- プログラムの策定
- 海外留学させる学生（以下「奨学生」）の募集及び候補者の選考
- 奨学生への奨学金等の支給
- 奨学生の学修・実習計画の実行の管理及び必要な支援
- 支援企業からの寄附金の募集 等



岡山県独自のプログラム

「留学」と「インターンシップ」を組み合わせた効果の高い『教育プログラム』

事前オリエンテーション
壮行会

地域企業
インターンシップ

海外留学

地域企業
インターンシップ

事後報告会

事前
オリエンテーション

- 地域プログラムの目的や課題の理解

1日

地域企業
インターンシップ

- 地域の活性化・地域への貢献を実現するための、事前あるいは事後インターンシップを実施

事前・事後合わせて
20日間以上

海外留学

- 実践型留学（「岡山の認知度向上」をキーワードとしたインターンシップ、ボランティア、フィールドワーク等）

3か月以上1年未満
(6か月以上推奨)

事後報告会

- 地域プログラムの目的や課題の理解

1日

地域協議会の意見等を
踏まえ、長期留学を支援

【国が定める要件】
28日以上1年未満
(3か月以上推奨)

岡山県独自のプログラム

「留学」と「インターンシップ」を組み合わせた効果の高い『教育プログラム』

事前オリエンテーション 壮行会



- 【事前オリエンテーション（例）】
- 1 参加学生の「行動実践プラン」の共有
 - 2 地域の理解を深める講座
※県職員や大学関係者等から説明
 - 3 相互理解の場
※事務局や大学関係者等から留学事業の目的を説明

事前オリエンテーション



県内壮行会

岡山県独自のプログラム

「留学」と「インターンシップ」を組み合わせた効果の高い『教育プログラム』

地域企業
インターンシップ

地域企業
インターンシップ

地域コーディネーターによる支援

- ◆選考を通過した学生と留学計画を基に面談を行い、最適なインターンシップ先企業の選定、受入依頼、内容の調整等を行い、留学が有意義なものになるよう留学前支援を行う。
- ◆留学中は、学生の現状を確認しながら留学計画を具体化するための情報提供や助言。加えて、インターンシップ先へ訪問し、情報共有等を実施。
- ◆帰国後は、事後インターンシップの同行訪問・調整等を行い、当初の留学計画を実現するための支援を実施。

岡山県独自のプログラム

「留学」と「インターンシップ」を組み合わせた効果の高い『教育プログラム』

地域企業
インターンシップ

地域企業
インターンシップ

インターンシップ先企業：サンヨープレジャーグループ

(学生の声)

岡山県の理科教育を促進するために企業と連携した授業づくりをしたい。そのため、NPO法人や大学と連携してSTEM教育の教材開発を行っているサンヨープレジャーグループで事前インターンシップを実施。開発された教材を用いて開催するイベントにスタッフとして参加し、子どもたちと触れ合った。同グループでは、教育の研究から子どもたちが遊べるテーマパークまであり、幅広い体験ができた。

【インターンシップ内容】

企業とNPO法人、大学が連携して開発している教材を用いて開催するイベントに参加し、教材開発の現場を体験

・株式会社おもちゃ王国

<7日間>

STEM QUEST STADIUMのスタッフとして1日2回公演の手伝い

<2日間>

SORA EXPO 2017 (東京) でSTEM QUEST STADIUMのスタッフとして1日4回の公演の手伝い、そら博の準備・搬入・設営

・株式会社ヴィットハート<1日>

そら博の部品搬入・購入書類作成・インタビュー

・NPO法人東京学芸大こども未来研究所<1日>

東京学芸大学の学童を見学、NPO法人東京学芸大こども未来研究所の見学・インタビュー



おもちゃ王国でのインターンシップの様子



SORA EXPO 2017での様子

岡山県独自のプログラム

「留学」と「インターンシップ」を組み合わせた効果の高い『教育プログラム』

地域企業
インターンシップ

海外留学

地域企業
インターンシップ

◆事例①：岡山を第二のシリコンバレーに！地方のITと女性を応援する！

インターンシップ

【受入企業名】株式会社両備システムズ

IT×地方×女性という観点から岡山をよりよくしたいと思い地域人材コースに志望。事前インターンシップでは各事業所やデータセンターなどの訪問、フェアへの参加、技術研修を行った。技術研修では、岡山サンノゼの姉妹都市間の交流をより深めることを目的としたSNSアプリの企画・開発を行い、これらを通してアプリ制作技術の基礎や岡山の企業について学ぶことができた。

帰国後は留学中に学んできたこと、経験してきたことを元に岡山のITや岡山の女性を盛り上げていくような活動がしたい。



インターンシップの様子



海外留学

【渡航先】サンノゼ州立大学（米国）

サンノゼ州立大学にてコンピュータサイエンスを学びながら、現地で開催されるハッカソン、日系企業のピッチイベント、日本文化を学ぶイベント、IT技術勉強会などのイベントに参加。サンノゼの姉妹都市である岡山の認知度向上のための実践活動を行った。

今後は、エンジニアリングに関わる女性を対象にしたイベントや岡山サンノゼ姉妹都市締結60周年を祝うイベント等に参加予定である。現地で岡山の優位性を発信するとともに、シリコンバレーの先進的な取り組みを持ち帰ることによって、岡山の発展に貢献したいと考えている。



留学先での様子

岡山県独自のプログラム

「留学」と「インターンシップ」を組み合わせた効果の高い『教育プログラム』

地域企業
インターンシップ

海外留学

地域企業
インターンシップ

◆事例②：歩いて岡山の魅力を知る！-英国フットパスの応用-

インターンシップ

【受入企業名】株式会社 J T B 中国四国

インターン期間中は常にエグゼクティブプロデューサーに同行し、フットパスを岡山に導入するために岡山県内の多くの村や町、島に行きました。そこで、フットパス導入におけるヒントをたくさん習得することが出来ました。

また、これからの観光において、自然×観光、農業×観光といった元からあるものを活かした観光の形が大事になってくるのだということも学びました。

イギリス留学中の活動においては、イギリスと日本の地形の違いから、フットパス導入における課題を発見しましたが、その時も親身にアドバイスをいただき、留学後、日本でどのようにしていくか軌道修正を行いました。

現在は事後インターンシップを行っており、留学を経た分、更に充実した活動をしています。



インターンシップの様子



海外留学

【渡航先】イギリス ヨーク セントジョン大学

イギリスでは、自然の風景を楽しみながら歩くフットパスという小道がたくさんあります。私はこのフットパスを岡山の地に導入して、多くの人に岡山の自然を楽しんでもらい、最終的に観光という方面で岡山を元気にしたいと考えました。

そこで、イギリスで実際にフットパスの道を歩いたり、インタビューをしたりと研究をしました。こちらで気づいたことは日本人の意識よりもはるかにイギリス人は運動をしようという意識があり、進んで健康づくりをしているということです。

イギリスに留学をしたからこそ分かったことがたくさんあり、これからの課題を発見することが出来ました。



留学先での様子

岡山県独自のプログラム

「留学」と「インターンシップ」を組み合わせた効果の高い『教育プログラム』

地域企業
インターンシップ

海外留学

地域企業
インターンシップ

◆事例③：岡山を自転車の溢れる魅力的な街へ

インターンシップ

【受入企業名】中央復建コンサルタンツ(株)

岡山の人と街を自転車の力で健康にするというテーマを掲げ、事前インターンシップで、「ももちゃり」の運営方法や収支状況、直面している課題を学ぶことができたことは、留学中の活動を充実させる上でとても大きな助けになりました。特に、コミュニティサイクル全体のマクロの課題と「ももちゃり」独自の課題を明確にできたことが、「ボリスバイク」と「ももちゃり」を比較する上で大変役立ちました。

インターンシップでは、基本的に私が論文や資料を読み、より具体的に知りたい内容を担当者の方に質問をするという形式でした。担当者の方と「ももちゃり」の利用者に対してアンケートを行いました。また、次世代の小型モビリティ（一人乗りの小さな自動車のようなもので「ももちゃり」と同じくポートが存在します）への試乗体験もしました。



インターンシップの様子



海外留学

【渡航先】イギリス ケント大学

空き時間を利用して、ロンドンの「ボリスバイク」の調査を行いました。活動の内容としては、ボリスバイクの利用方法、自転車の車体やポートの特徴について「ももちゃり」と比較をしました。また、事前インターンシップ中に行ったアンケートと同じ内容でのアンケートを「ボリスバイク」の利用者に対して行いました。

在学していたケント大学では、大学の中に点在する寮と教室をつなぐ大きな道は、自転車道と歩行者道とに完全に分かれていたことが印象的でした。ケント大学を含むイギリスの多くの大学は「徒歩自転車通学推奨制度」を導入しています。自転車を利用する教員に具体的なインセンティブがあったりする点で、日本との「制度」の違いを見せられた気がしました。



留学先での様子

岡山県独自のプログラム

「留学」と「インターンシップ」を組み合わせた効果の高い『教育プログラム』

地域企業
インターンシップ

海外留学

地域企業
インターンシップ

雇用創出という留学テーマと会社の課題が一致していたので、受け入れた。岡山のリーダーとして活躍することを期待する。



岡山の特産品をアメリカでPRするという志望動機を知り、ぜひ応援しなければと考えた。学生の思いをできる限りサポートしていきたい。

女性の働きがいのある職場づくりを目指している当社にぴったりの人材。将来にわたって、力を発揮してほしい。

他の社員の刺激になった

岡山県独自のプログラム

「留学」と「インターンシップ」を組み合わせた効果の高い『教育プログラム』

事後報告会



帰国挨拶



成果報告会

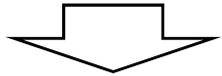


交流会

大学・産業界との連携

連携① 県内大学における募集説明会

広報に当たっては、留学に興味がある学生に対して、制度や手続き、支援内容を直接説明することが効果的。



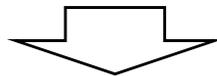
募集説明会の開催を希望する大学に出向いて、募集説明会を実施。また、学生へのフォローアップや今後の取組の参考とするため、学生向けのアンケートも併せて実施。



募集説明会の様子

連携② 産業界を巻き込んだ審査会

地域の支援企業からの協賛金によって奨学金が成り立っているため、産業界関係者の継続的な支援が、事業運営にとって重要。



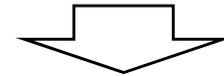
県内の産業界関係者が中心となって選考会での審査を実施し、学生の留学計画に対する質問やアドバイスを活発に行うことにより、地域の支援企業と学生の距離を近づける。



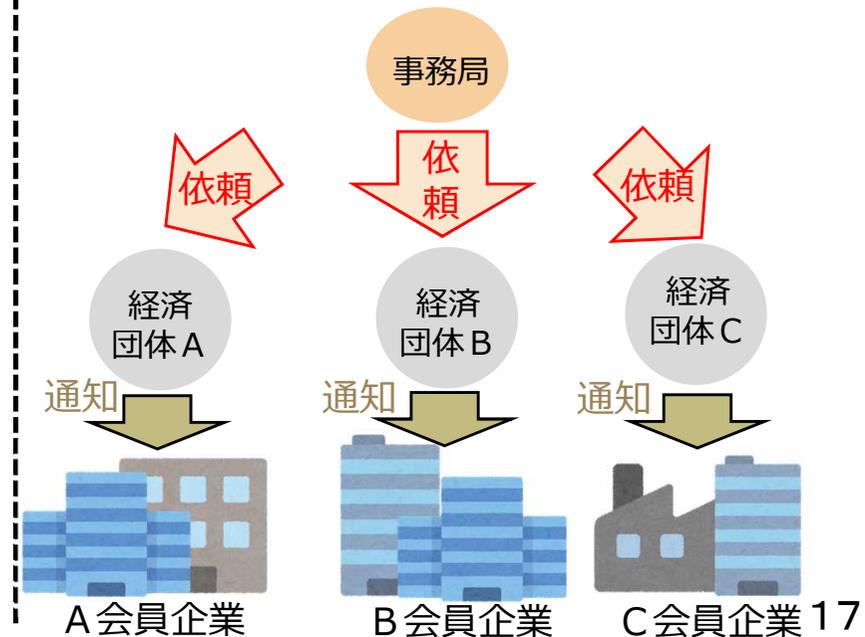
プレゼンテーションの様子

連携③ 協賛金の拡大に当たっての協力

協賛企業の拡大に当たり、事務局職員が企業に個別に協賛のお願いに伺うのは、負担が大きい。



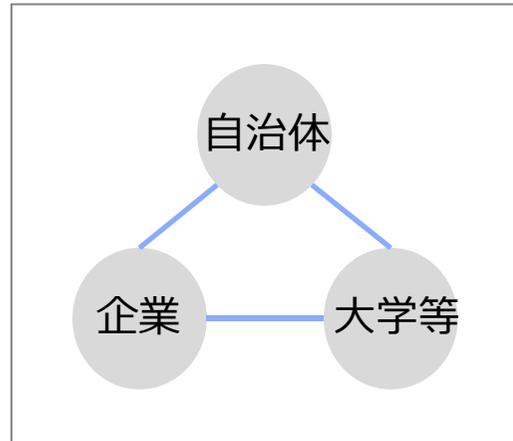
複数の経済団体を通じて、会員企業へ協賛金の依頼を送付することにより、効率的に県内企業の協賛意向を把握することが可能



事業の成果

①地域協議会の創設

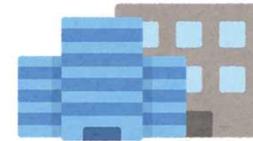
産学官から構成される地域協議会が創設されたことにより、大学や経済団体、企業との連携が深まり、事業の強力な推進及び機運醸成が図られた。



③協賛企業の拡大

制度周知や機運醸成が図られたことにより、県内の様々な企業が本事業に協賛

15社 330万円

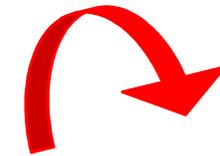


平成27年度
(制度スタート時)

31社 620万円



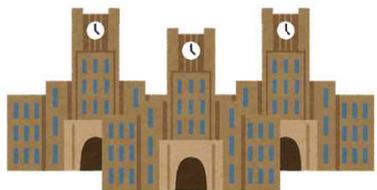
令和元年度
(5年目)



②応募大学の広がり

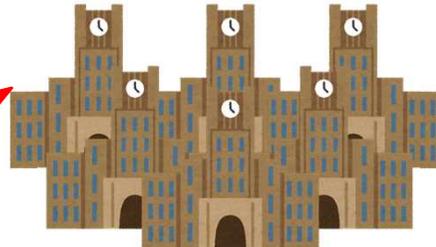
制度周知や機運醸成が図られたことにより、様々な大学の学生が本事業に応募

4大学

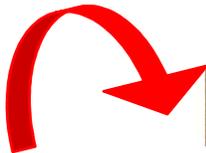


平成27年度
(制度スタート時)

8大学



令和元年度
(5年目)



④学生の留学計画に沿ったインターンシップの実現

製造業や旅行会社、農園など、コーディネーターの調整により、学生の留学計画に沿った幅広い分野の企業におけるインターンシップが実現



課題解決に向けた取組

県内就職に向けた取組

【課題】

派遣学生の半数程度が在学中だが、就職者のうち県内就職が決定したのは2名のみ

【解決に向けた取組】

産業労働部と連携を図り、学生に対して、積極的に県内企業の魅力を発信



留学促進事業とのさらなる連携

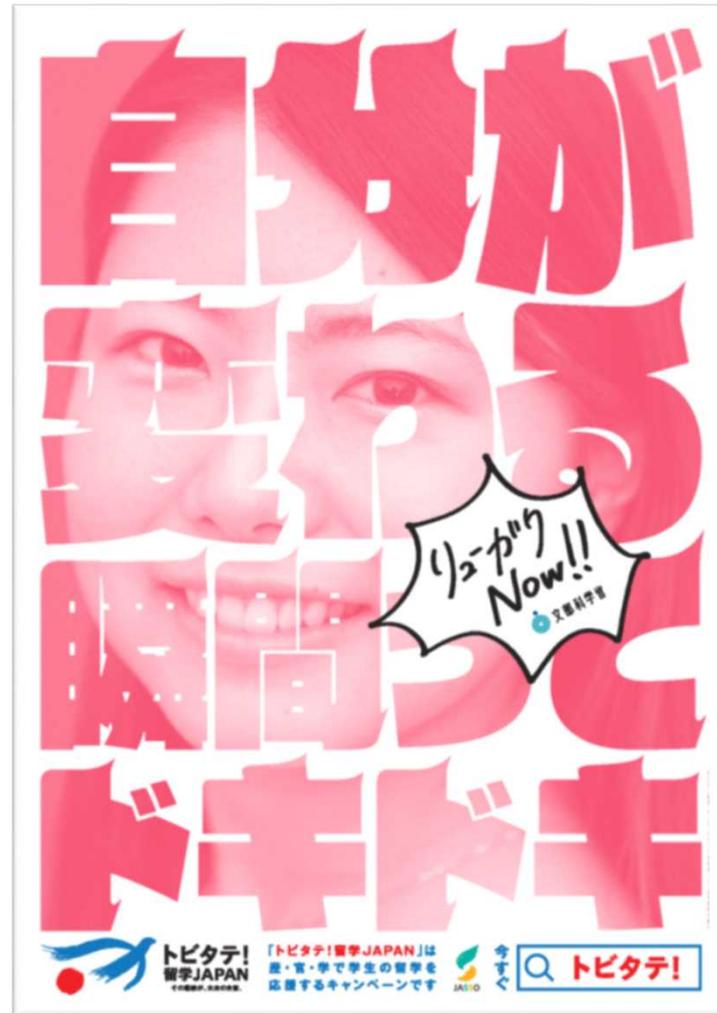
【課題】

他の留学促進事業とのさらなる連携が必要

【解決に向けた取組】

岡山県主催の留学促進フェアにおいて、特設ブースを設置し、派遣学生が大学生等や保護者等に対して留学体験を伝える場を提供





ご清聴ありがとうございました。